RPAコース体系 企画提案書

1. コース体系概要

本コース体系は、以下の4つのレベルで構成されています。

1. 入門コース：RPAの基本操作を習得

2. 初級コース：RPAの基礎知識と応用スキルを習得

3. 中級コース：より複雑な業務プロセスの自動化スキルを習得

4. 上級コース：エンタープライズレベルのRPAプロジェクトを推進できるスキルを習得

2. 各コース詳細

2.1. 1. 入門コース

RPAの基本操作を習得し、RPA開発の第一歩を踏み出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | アクティビティ |
| ブラウザ操作 | デモ画面を開く、ボタンをクリック、文字を入力、項目を選択、テキストを取得 |
| 条件分岐 | ファイルが存在しなければURLからダウンロード |
| Excel操作 | 範囲を読み込み、セルに書き込み |
| 繰り返し | 繰り返し各行 |

2.2. 2. 初級コース

RPAの基礎知識と応用スキルを習得し、簡単な業務の自動化を実現します。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | アクティビティ内容 |
| 変数とデータ型 | 変数作成・型指定、配列/リスト利用、変数スコープ |
| Web操作応用 | 動的セレクター利用、要素待機、複雑な入力フォーム自動化 |
| Excel操作応用 | 複数シート操作、データテーブル活用、Excel関数実行、データテーブル抽出/絞込、マクロ実行（引数なし/あり） |
| データ加工 | 文字列処理（分割/結合/置換）、日付/時刻データ扱い |
| 条件分岐応用 | 複雑なIf/Switch文活用 |

2.3. 3. 中級コース

より複雑な業務プロセスの自動化スキルを習得し、RPA適用範囲を拡大します。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | アクティビティ内容 |
| 例外処理 | Try-Catchによるエラー制御、カスタム例外作成、エラーログ出力、基本的なエラー処理 |
| モジュール化 | ワークフロー分割/再利用、引数設定/受渡、Configファイル利用 |
| ファイル操作 | ファイル/フォルダ一括処理、PDF読込/保存、SharePoint OnlineファイルDL/UL |

2.4. 4. 上級コース

エンタープライズレベルのRPAプロジェクトを推進できるスキルを習得し、RPA導入効果を最大化します。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | アクティビティ内容 |
| API連携 | REST API呼出、外部サービス認証処理、JSONデータ解析/生成 |
| セキュリティ対策 | 認証情報安全管理、アクセス権限設計、監査ログ実装、資格情報アセットの利用 |
| Copilot連携 | Copilot API連携、自然言語RPA制御、AIによる自動化 |

3. コース受講後の効果

RPA開発スキルの向上

業務効率化の促進

コスト削減

従業員の生産性向上

企業競争力強化

⁂